



## 思うこと

この前は、その生物のF先生とぼったり鉢合わせして、なるべく目を合わせないようにしていたのだが、すぐさま花を咲かせられ(迷惑の受身)た。ただ、話題は13Rのことだったのでつきあった。

F：先生、先生の古文の授業の時は13Rはノリノリですか？

H：ノリノリってほどでもないなあ。生物の時間はノリノリなの？

F：いやいや、それが静かでね。授業が淡々と進んじゃうんですよ。

H：あ、そうなの？ みんな分からなくてシ～ンじゃないの？

F：いや、そういうシ～ンではなくて、今ひとつ反応がうすいというか…

H：へえ～。古典の時は他のクラスとあまり違うイメージはないけどなあ…。生物は成績が今ひとつな生徒もいるし、みんな苦手なのかね。

F：そんなことないと思いますけどねえ。できる生徒もいますよ。まあ、授業が進むのが一番イいで、特にどうのこのとかいうことはないんですけどね…

とおっしゃりながらも、今ひとつご不満のようであった。

前にも書いたが、授業は「先生と生徒が一緒に作り上げて行くもの」だから、そのどちらかでも力が抜けてしまうと、授業全体のパフォーマンスが低下してしまう。もちろん、我々教員(プロ!)の側には、どんな場合でも最高のパフォーマンスを目指す責任があるが、どうせなら楽しくやりたいものである。あまりF先生を元気づけるのもどうかと思う

が(笑)、どの先生方に対しても、最高のパフォーマンスを発揮していただけるような雰囲気を作りたいものである。下らない冗談につきあう必要はないが、その勉強(学問)の本質に触れるような話題を取り上げている時の先生方の雰囲気は、きっといつもとは微妙に異なっていたりするはずだ。そういう時はしっかりと耳を傾けて、先生方がお持ちの最高の教養を引き出すように努めよう。

\*

2日の学級日誌の清掃状況欄に「朝、ひなのちゃんが掃除をしていた」旨の記載があったので、担任コメント欄に「こういう仲間がいてくれるおかげで快適な学習ができる。そういう心遣いを共有できるようになりたいものだ」と書いておいた。

担任の中には、朝早く来て、ご自分の担任クラスの簡単な清掃をなさっている方もいて、「偉いなあ」と思いつつも、私はそういうことはしないだろうなあとも思っている。

教室の清掃は学生生活の基本だし、そういう基本的なことは自分たちでしっかり管理すべきだろう。たいていは我慢レベルの低い人(=キレイ好きな人)に負担がかかったりするものだが、だからこそ、自主的に教室を掃除してくれたりするのは、とても素晴らしいことなのである。そして、たとえその場で手伝えなくても、そういう話を聞いて、ゴミを散らかさないようにしようとか、ちゃんと分別しようとか思う人が増えるとしたら、それこそが「イイクラス」と言えるのではないだろうか。私はそう思うけど、どうだろうか？